

薩摩川内市議会だより

発行 薩摩川内市議会 編集 議会だより編集委員会 〒895-8650 薩摩川内市神田町3番22号 ☎0996-23-5111 (FAX) 0996-23-5015



薩摩川内市誕生祝賀パレード

平成16年度一般会計予算等56議案を同意・可決

平成十六年第二回定例会が十二月二日から二十四日までの二十三日間にわたり開催され、平成十六年度一般会計予算、十九特別会計予算等五十六議案を原案のとおり可決・同意しました。

また、十二月十日・十三日・十四日の三日間一般質問が行われ、十六名の議員が地区コミュニティ協議会の充実、市村は合併後の住民負担、新市まちづくりの基本方針、川内港の整備、住民基本台帳カード、新市における協働型市民社会の創造、財政の見通し等について質問が行われました。

十二月二十四日には、原子力発電所対策調査、交通運輸対策調査、都市基盤整備対策調査、地域振興対策調査の各特別委員会を設置し、それぞれの委員を選任しました。

このほか、隈之城麓踏切及び鉄道と交差する道路の改善に関する請願、「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する陳情書を採択するとともに、陸上自衛隊川内駐屯地の存続を求める意見書、平成十七年度地方交付税所要総額確保に関する意見書等を関係行政機関に提出しました。

12月10日、13日、14日の本会議で、16名の議員が市政全般にわたって一般質問を行いました。通告された一般質問項目は、次のとおりです。

一
般
質
問

1 質問者 川 添 公 貴 議員	9 質問者 福 田 俊一郎 議員
1 地区コミュニティ協議会充実について 2 特認校制度の拡充について 3 新幹線の開通に伴う、定住促進のための宅地開発・支援について	1 自治基本条例の制定 2 新総合計画策定への取組 3 平成17年度予算編成への国県による支援 4 教育立市プランの策定
2 質問者 種 田 弘二郎 議員	10 質問者 杉 蘭 道 朗 議員
1 入来温泉場地区土地区画整理事業が懸念されるが今後の見通しについて 2 土地区画整理事業に関連する温泉施設について 3 区画整理事業に対する推進室の職員体制について	1 新市における慣行の取扱いについて 2 庁舎内レイアウト変更による住民サービス向上の効果は 3 住民基本台帳カードの現状について 4 旧4町4村の議場の今後の利活用は
3 質問者 井 上 勝 博 議員	11 質問者 江 畑 芳 幸 議員
1 川内原発について 2 市町村合併後の住民負担について	1 健康を保つためスポーツを役立てる行政の方向性は 2 市民が使用する体育設備とその運用計画
4 質問者 瀬 尾 和 敬 議員	12 質問者 小 辻 富 義 議員
1 薩摩川内市民の一体感醸成のための方策について 2 交通網の整備・確立について 3 ふるさと教育の推進について	1 甌島架橋について 2 甌島の診療所事業について 3 甌島避難港について 4 甌島航路について
5 質問者 堀之内 盛 良 議員	13 質問者 永 山 伸 一 議員
1 コミュニティを生かした地域力を育むまちづくり 2 地域力を発揮し産業活力を創出するまちづくり 3 都市力を創出するまちづくり 4 健全財政堅持と人材育成のまちづくり	1 新市における協働型市民社会の創造について 2 教育振興対策について
6 質問者 福 元 光 一 議員	14 質問者 中 島 由美子 議員
1 高齢化社会に伴う介護福祉の支援制度について 2 農林水産業の基盤整備及び地産地消について 3 多目的総合広場設置について 4 10万都市にふさわしい住みよい道路・橋梁・港湾の整備について 5 薩摩川内市を生かした観光について	1 市政について 2 教育現場について
7 質問者 江 口 是 彦 議員	15 質問者 森 永 靖 子 議員
1 甌島の振興対策について 2 甌島海洋深層水への薩摩川内市としての取組について	1 少子化社会における子育て支援について 2 21世紀国民健康づくり運動 3 出産に伴う経済的負担の軽減について
8 質問者 新 原 春 二 議員	16 質問者 佃 昌 樹 議員
1 新市における事業の進捗について 2 川内港の整備について 3 新幹線全線開通に向けて 4 観光行政について	1 財政見直しについて 2 地区コミュニティ協議会について 3 原発増設について 4 教育行政の姿勢と対応について

以降に主な質問の内容を紹介します。なお、紙面の都合上、原則、質問項目のうち議員が希望した1項目を掲載してあります。詳しくは会議録をご覧ください。



川添公貴 議員

◇地区コミュニティ協議会 充実について

質問①地区振興計画が地域力向上の大事な柱と考える。

地域の声である計画をいかに新市まちづくり計画に反映させるのか伺いたい。

②地区への育成・助成の考え方と全市一体となった共通の認識となる骨子・骨格を示されたい。

③四十八地区の発展振興が薩摩川内市の中核と考えるが、新市全体の発展に繋がるこの計画策定等に対し、側面よりの支援をどうするのか伺いたい。

答弁①四十八地区から提出されま

す地区振興計画は、政策会議等で審議の対象とし、総合計画・基本計画あるいは実施計画に反映が可能なものについては反映していきたい。

②新市一体となる骨子・骨格としての基本理念等は、合併時の新市まちづくり計画の中で基本理念と将来都市像を謳っているところで、この理念と都市像を踏まえて地区振興計画が制定されるものと考えている。

③地区振興計画の策定の支援は、

現在、コミュニティ協議会設立のため職員を派遣しているが、早い機会に同計画の策定マニュアルとモデル案をお示しして、速やかに計画策定ができるように支援したい。

地区コミュニティ協議会の助成制度についても、従来と見劣りしないよう措置したい。



種田弘二郎議員

◇都市計画事業について

質問①入来温泉場地区土地区画整理事業が、平成十七年度からの事業計画額六億円と九億円と計画されている。今後の見通しについて伺いたい。

②温泉施設については、土地区画整理事業と関連する事業計画であるが、計画通り進捗するのか伺いたい。

③区画整理事業の事業費もあがり大変だと考えるが、推進室の職員体制について伺いたい。

答弁①国の財政状況等を見ながら、地方財政計画等を参考に、あわせて本市の財政状況等を見極めながら取り組みたい。

②区画整理事業により、柴垣湯とあぜろ湯の市営公衆浴場が移転対



柴垣湯

象となっている。近い将来、これに代わる施設として、区画整理の進捗に併せ、新たに造成されたところに温泉センターをつくる構想になっている。

③天辰地区の区画整理事業については、五十四haの事業の面積を職員八人体制で行っているが、入来温泉場地区は十四haの事業の面積を二名で建設課の応援をもらいながら、事業執行している。当面は現体制で対応をし、事業の進捗状況等を考慮しながら検討していきたい。



井上勝博 議員

◇市町村合併後の住民負担について

質問①国保健康保険税の短期証交付基準の見直しについて伺いたい。

②休業や失業により前年度よりも所得が少なくなると見込まれる時は市民税の減免ができるか。国保税については減免するべきと考えが伺いたい。

答弁①短期証交付基準をつくり公平に取り扱っている。国保税は相互扶助制度であるので、不公平感の出ないよう十分相談の中で対応していきたい。

②減免制度の必要性は感じるが、本市は、「市税減免の基準に関する規則」の規定を準用して、廃業、休業、失業、疾病等のやむを得ない事情で納税できない方について、納税相談を行い、納税誓約書を取り交わし、分割納付を進めていきたい。



くるくるバス



瀬尾和敬 議員

◇交通網の整備・確立について

質問①交通弱者にとって、巡回バス（くるくるバス・ゆったりバス・ゆうゆうバス・祁答院バス）・入来乗合タクシーの運行維持を望む声が多い。どう対処するか、伺いたい。

②観光ルートを確立し、巡回バス・乗合タクシーとの連携を図った交通網を整備すれば、新市の観光地や文化財巡りが可能になる。市長の見解をお伺いしたい。

答弁①住民の足の確保をし、利便性を考えなければならぬ。合併協議のなかでもとりあえず平成十七年度までは現行制度を維持し、その間、一年かけて検討を行うこととしている。

②本市には、すばらしい自然や歴史的文化があるので、これら点を線で結ぶ必要があり、バス、鉄道、航路等の交通アクセスについて、知恵を絞っていきたい。



堀之内盛良議員

◇新市まちづくりの基本方針について

質問①コミュニティを生かした地域力を育むまちづくり（地区コミュニティ協議会と地域振興計画）について伺いたい。

②地域力を発揮し、産業活力を創出するまちづくり（商業の連携による振興策について）について伺いたい。

③都市力を創出するまちづくり「十萬都市の社会基盤について」県土中核都市づくり方策として、永野段開発構想について、示された。

答弁①コミュニティ協議会は、住民自らが地区の将来像について考

えつくりあげていくものである。地区振興計画のモデル案は調整会議や政策会議等で協議した上で、なるべく早期に示したい。

②地域がそれぞれの特性を相互に補完し合いながら、市内での消費促進を図られるように努めて参りたい。

③民間でできないかどうか、関心は持っているが、もう少し時間をかけて研究したい。



福元光一 議員

◇十萬都市にふさわしい住みよい道路・橋梁・港湾の整備について

質問①朝夕の空港バイパスの渋滞の現状から、永利天辰線の工事進捗率について示されたい。

②韓国貨物船の川内港入港に伴う港湾作業のためのクレーン設置について伺いたい。

③川内港周辺部の整備について、国有林もあり将来を見据えた街づくりは考えられないか伺いたい。

④川内港から市街部への幹線道路の整備促進について国、県に対しどのように取り組まれているか伺いたい。



県道京泊大小路線

答弁①延長区間三、七六〇メートル、区画整理区域を除く一、七四〇メートルが完成予定で、進捗率は四六パーセントである。

②県へガントリークレーンの設置を要望しているが、まだ設置されていない状況から、二月頃、民間企業によるハーバークレーンが購入される。

③国有林の活用も大きなテーマである。ご意見を十分聞いて、今後すばらしいまちづくりができるようにしたい。

④十一月末現在で地権者八名分、十三筆が未買収であり、県の方は用地買収が終わればすぐ工事を開始したい意向である。



江口是彦 議員

◇離島振興法に基づく離島振興対策について

質問① 離島は離島振興対策実施地域の指定をうけ、平成十五年度から平成二十四年度までの十ヶ年離島振興計画が作成されている。この実施計画の方策について伺いたい。

② 旧甌四村時代に作った計画を薩摩川内市として責任と権限を持って推進していくためには、国土交通省や県の離島振興課と直接つながる離島振興課の設置など組織の整備が必要と考えるが伺いたい。
答弁① 過疎債、辺地債、県単独の補助金を充たしながら、定められた計画に沿って事業展開を図りたい。



新原春二 議員

◇川内港の整備について

質問① 甌四支所との早期一本化と観光ルートの開発も含めて、川内港と甌島の足の確保が急務と考えますが、甌航路の見直しについて示されたい。また、川内港活性化にむけて、川内、甌両漁協の皆さんが川内港内に魚市場開設を希望されていますので、一日も早い魚市場の新設を含めた川内港の整備活性化についてご見解を示されたい。

答弁① 旧甌四村の住民の意見を尊重しながら、国、県、関係機関とも協議の上、現在のところ願望ではあるが、早い機会に甌航路が川内港に寄港ができるような様々な問題解決に取り組んでいきたい。
また、魚市場は昭和二十九年建設で老朽化している。川内港への設置が活用面で最善と考えるが議会のご意見を参考に調整していきたい。



福田俊一郎 議員

◇自治基本条例の制定と教育立市プランの策定について

質問① 住民自治を基本とし、市民と議会と市それぞれの役割や責務を認識した上で、協働してまちづくりを推進することを目的とする自治体の憲法と言われる自治基本条例を制定していく考えはないか伺いたい。

② 日本の教育環境が大きく変貌する中、市町村の財政力の格差などによって教育条件が左右されないよう、教育水準の維持向上をはかる見地から行政の総合計画の必要性を感じるが伺いたい。
答弁① 自治基本条例の制定については、先進事例を参考に十分研究を進めたい。
また、総合計画をもとに事業展開を考えるが、もうしばらく時間をいただきたい。
② 教育を取り巻く環境がいかに変化しても、学校指導要領の定めは全国共通が前提となっている。
また、教育プランの作成については、今後、総合計画作成の中で、その内容との整合性や関係等を踏まえ、他市の先進的な取組を参考

に研究したい。



杉蘭道朗 議員

◇住民基本台帳カードについて

質問① 住民基本台帳ネットワークシステム運用開始後の本市の住民カード発行の現状と、住民カードの機能拡大による利便性向上や住民票等自動交付機設置への取組状況について伺いたい。



ICカード交付

答弁①十一月末現在で、本市の住民基本台帳カードの交付枚数は二百六枚で、交付率は〇.二パーセントとなっており、なかなか普及が図られていない。カードの機能拡大については総務省が示した十五項目の空き領域を利用して市町村の独自利用サービスができることから、更に前向きに取り組んでいく。

また、住民票等自動交付機設置は、設置場所や利用頻度とその費用対効果等を検討してみる必要がある。



江畑芳幸 議員

◇スポーツを通じた市民の健康づくりについて

質問①健康である為の手段のひとつとしてスポーツを推進している。その拠点、総合運動公園の今後の事業の方向性、又、アクセス方法について伺いたい。

②見る為のスポーツ誘地の状況、市民が使用するスポーツ施設の状況と、今後の運用計画について伺いたい。

答弁①総合運動公園を中心に体育施設を整備し、今日に至り大方施設の整備は終わっているの、こ

の施設をうまく活用いただきたい。アクセスについては、全体的に交通機関の見直しを行うなかで、検討して参りたい。

②スポーツ大会の誘致にも努力し、交流躍動都市として活性化を図りたい。また、大会については、年間計画の中でお互いに調整し、円満に施設を活用しているところである。



サンドームせんだい



小辻富義 議員

◇蘭牟田瀬戸架橋と甌島診療所事業について

質問①甌島の大動脈となる蘭牟田瀬戸架橋を早期実現させ、甌島振興、観光の名所、宝の島にすべきと考えるが伺いたい。

②現在の甌診療施設は、医科、歯科だけであり眼科、耳鼻咽喉科、整形外科がなく、鹿児島市や串木野市、川内地域まで一泊二日がかかりで治療に行かなければならない不便さを感じている。甌診療施設を民営化する考えはないか伺いたい。

答弁①蘭牟田瀬戸架橋については、県と連携をとり、市議会と一緒に、なつて要望活動等を行いたい。実現の兆しが見えている今、前向きに取り組んでいこうと考える。

②蘭牟田瀬戸架橋が早くに完成をみたならば、どこか一ヶ所に総合診療所を設け、島民の皆様の健康を守りたい。



永山伸一 議員

◇新市における協働型市民社会の創造について

質問①新市では、地域の暮らしや教育、文化、まちづくりなどの公共活動を行政が独立的に担う時代から、市民の方々と公共活動を共有し、それぞれの役割を果たす

「協働型社会」へ移行して地方自治の新时代を自ら切り抜き、積極的に改革を進める必要があると考えるが、市長へ現在の取組の状況について伺いたい。

答弁①市民からの意見公募、行政改革推進委員会での審議により、今年度中に市政改革大綱と実施計画を制定し、市民の皆さんと一緒に、なつて行政改革を進めて参りたい。



中島由美子議員

◇教育行政について

質問①日々多忙をきわめる学校現場であるが、子どもや保護者の声・要望に応じていける教師・学校であつてほしいとの指摘があるが、一人ひとりの声・要望に十分な対応を考えるが、伺いたい。

②子どもたちが、下校中に事件にまきこまれ、恐ろしい思いをしている事例がある。子どもたちが安心して安全に下校ができるよう、地域ぐるみで対策はとれないか伺いたい。

答弁①どのような要望や相談であつても、まず誠意ある対応を心がけ、教師や学校、保護者相互の信頼関係を深めることが大切であり

今後も校長、教頭研修会等の機会をとらえ指導して参りたい。
 ②緊急時の対処方法を児童・生徒に具体的に指導するとともに子どもも一〇番の家や警察、関係機関と緊密に情報交換を行い、今後は、地区コミュニティへの協力もお願いするなど、地域が一体となった防犯活動をより一層進めている。



子ども110番の家

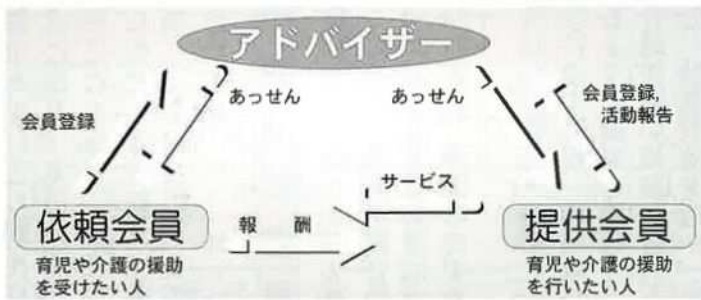


森永靖子 議員

◇ファミリーサポートセンター設置について

質問①仕事と育児の両立の困難さや、子育てに対する不安感や負担を少しでも軽減し、職業生活と家庭生活の両立を支援する事業「フ

ファミリーサポートセンター」を、新市スタート後に設置すると答弁をいただいていたが、その時期・場所・準備委員会・市民への説明会、広報等のお考えを伺いたい。
 答弁①平成十七年度中の早い機会に設置を考えているが、準備期間に六ヶ月ぐらいかかる。場所は、未定であるが、できるだけ子育ての皆様が利用しやすい場所をと考える。準備委員会の立ち上げは考えていない。
 市民への広報は、ホームページや広報紙で周知徹底を図りたい。



ファミリーサポートセンターのしくみ



佃 昌樹 議員

◇合併で財政規模が拡大した。そこで長期的財政見通しについて質問したい。

質問①平成十六年度予算についての感想を伺いたい。
 ②財源調達の見通しと、合併特例法に基づく十年間の交付税保障の見通しについて伺いたい。
 ③新市の借金六六三億円を十年後四三〇億円とした根拠について伺いたい。
 ④合併特例債二〇〇億円を限度とした根拠について伺いたい。
 ⑤十年後の財政の数値を八代市を目標にしているが、目標達成に向けての姿勢について伺いたい。
 答弁①予算規模や盛り込んだ経費からも、責任者として重大な責務であると認識した。
 ②合併に伴う交付税の支援措置は、国が保障すべきであり、三位一体の改革等の動きについても、しっかりと推移を見守り、意見を述べていく。
 ③人口、税収などが類似し、健全な財政運営をしていることから八代市を参考に市債残高の目標を立てている。

④制度上、七〇%の財源措置があっても、三〇%は借金として返済しなければならず、新市まちづくり計画の目標と同様、起債可能額の四割程度で考えた。
 ⑤財政運営の指針であり、これを目標にやらなければならないと考える。具体的には、毎年実施計画の中で議論を重ねながら取り組む。

常任委員会から

各委員会は、十二月十五日から二十一日まで七日間開催し、それぞれ付託された議案の審査等を行い、主に次のような意見・要望を述べました。

企画経済委員会

- ①自治会への公文書配布については、各地域の実情も踏まえた効率の良い方式を支所関係課とも検討されたい。
- ②地区コミュニティ協議会設立後、地区担当職員の配置がとかれた後にも、行政への意見反映等が可能な窓口体制を構築されたい。
- ③自治会運営補助金については自治会の事業計画を始め、予算書作成に必要となることから、各自治



地区コミュニティ協議会準備委員会

会の総会開催前の早い時期に内示できるよう検討されたい。

④合併したことによる効果が現れるよう、甌地区における営農専門指導員等の配置を検討されたい。

⑤せんだい港「海の道」づくり事業におけるポートセールスについては、予算の充実を図り取り組まれたい。

⑥関係機関等と横断的な連携を取り、交通アクセスを含めた港湾整備に努められたい。

⑦川内港外貿定期コンテナ航路運航支援補助金等について、更に充実を図られたい。

市民福祉委員会

⑧新市誕生により観光資源等も豊富になり、本市の活性化につながることから、観光客等の誘客に努めるよう観光予算の充実を図り、全国へのPR活動を展開されたい。

①住基ネットワークシステム事業のICカードの活用について、市民が必要とする効果的な使い道を検討され、事業の充実を図られたい。

②防犯灯の管理・整備については、今後は全市域統一的な取扱いができるよう要綱等を検討されたい。

③介護保険の被保険者の実情を調査し、情報収集を行い、実態にあったサービスの在り方を指導されたい。

④川内クリーンセンターの維持補修費と新たな建設費用とを比較検討し、今後の方向を研究されたい。

⑤結核について、高齢者が再発するケースが見受けられるので、高齢者が積極的に受診するよう啓発されたい。

⑥老人福祉施設として管理するさざらし会館は相当の補修費が見込まれるが、他の温泉施設と統一的な管理運営ができないか検討されたい。

⑦保育園に子供の相談をしたい人

建設水道委員会

も数多くいると考えるが、そういう受け皿づくりの早急な対応を図られたい。

⑧視力障害者への点字文書が、点字プリンター故障で、発行遅れにならないよう対応を検討されたい。

①仮称隈之城川公園の駐車場については、利用者の公平性の観点から有料化を推進されたい。

②本市樋脇町地区の市道上之湯・新開線は、狭隘にもかかわらず、交通量が多く、通学路として利用されていることから、道路の環境整備を推進されたい。

③天辰第一地区土地区画整理事業地区内の都市計画道路永利天辰線の早期完成に努力されたい。

④地権者の高齢化が進み早急な事業効果が求められるので、円滑な入来温泉場地区土地区画整理事業の推進に努められたい。

総務文教委員会

①救急救命士の増員を図るとともに、高規格救急車の年次のな配備を行い、もって救急体制の充実を図られたい。

②今後の消防団詰所等の整備に当たっては、災害時に開設される市の詰所との連携についても考慮されたい。

③今後、各地域の奨学資金貸付制度の一元化を図り、これまで以上に活用されるものとされたい。

④国の指定史跡となった清色城跡の整備については、補助事業を活用し、城の復元も視野に入れたものとされたい。

⑤学校給食運営に支障を来さないよう、給食費の未納対策を講じられたい。

⑥出納事務に係る証票書類の増加に対応できる会計課の職員体制を早急に構築されたい。

⑦環境美化推進条例の目的も踏まえ、屋外広告物条例違反となるような電柱等への政治的ポスターの掲示に対しては、厳正に対処されたい。

⑧選挙運動用ポスター作成等に係る公費支払いの迅速化を図られたい。

⑨公共事業の公平性・透明性を図るため、導入する工事台帳管理等システムの情報公開について検討されたい。

⑩新市の通信手段として、今回導入するIP電話を更に活用されたい。

⑪災害時における避難者のための食料配備について、検討されたい。

⑫今後とも、納税相談におけるプライバシーの確保に十分配慮されたい。



薩摩川内市誕生記念式典

平成16年度薩摩川内市予算

[一般会計・特別会計]

(単位：千円)

一般会計		34,241,000	
簡易水道事業	682,720	公共用地先行取得等事業	132,410
交通災害共済事業	32,510	へき地診療所事業	119,020
温泉給湯事業	186,480	休養施設事業	17,200
公共下水道事業	714,170	宿泊施設運営事業	25,570
農業集落排水事業	758,560	国民健康保険直営診療施設勘定	573,300
漁業集落排水事業	27,000	介護サービス事業	117,100
浄化槽事業	34,080	国民健康保険事業	5,734,300
天辰第一地区土地区画事業	1,543,290	老人保健医療事業	8,043,020
川内駅周辺地区土地区画事業	406,340	介護保険事業	5,250,120
入来温泉場地区土地区画事業	264,520		
特別会計小計		24,661,710	
合計		58,902,710	

[公営企業会計]

(単位：千円)

水道事業	収益的収入	695,064
	収益的支出	695,896
	資本的収入	267,016
	資本的支出	627,149
工業用水道事業	収益的収入	17,202
	収益的支出	16,541
	資本的収入	1
	資本的支出	28,526
自動車運送事業	収益的収入	70,958
	収益的支出	70,958
	資本的収入	529
	資本的支出	529

提案・可決された議案

件名	説明
薩摩川内市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について	地方公務員法及び地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、本市においても、人事行政の運営等の状況の公表に関し、必要な事項を条例で定めようとするもの。
薩摩川内市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例の制定について	本市施行に伴い、地方自治法施行令第1条の2第1項の規定により、市長が選挙されるまでの間、市長職務執行者がその職務を執行していたが、市長が選挙されたので、当該条例を廃止しようとするもの。
薩摩川内市監査委員条例の一部を改正する条例の制定について	本市の監査機能の充実、強化を図るため、監査委員の定数を3人としようとするもの。
鹿児島県市町村自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について	平成16年10月12日から川内市、薩摩郡樋脇町、同郡入来町、同郡東郷町、同郡祁答院町、同郡里村、同郡上甕村、同郡下甕村及び同郡鹿島村を廃し、薩摩川内市が設置されたこと及び平成16年11月1日から鹿児島郡吉田町、同郡桜島町、揖宿郡喜入町、日置郡松元町及び同郡郡山町を廃し、それらの区域が鹿児島市に編入されたことに伴い、鹿児島県市町村自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数を減少しようとするもの。
鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合規約の変更について	本市が加入している鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合について、平成17年1月1日から始良地区滞納整理組合を鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合から脱退させ、同組合の規約を変更しようとするもの。
鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合の財産処分について	平成17年1月1日から始良地区滞納整理組合が鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合から脱退することに伴う財産処分について、地方自治法第289条の規定に基づく関係地方公共団体の協議により定めようとするもの。
鹿児島県市町村非常勤職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村職員退職手当組合規約の変更について	本市が加入している鹿児島県市町村職員退職手当組合について、平成17年1月1日から始良地区滞納整理組合を鹿児島県市町村職員退職手当組合から脱退させ、同組合の規約を変更しようとするもの。
鹿児島県市町村職員退職手当組合の財産処分について	平成17年1月1日から始良地区滞納整理組合が鹿児島県市町村職員退職手当組合から脱退することに伴う財産処分について、地方自治法第289条の規定に基づく関係地方公共団体の協議により定めようとするもの。
薩摩川内市男女共同参画基本条例について	男女共同参画の推進に関し、市、事業者及び市民の責務を明らかにするとともに、基本的施策について必要な事項を定め、もって男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進しようとするもの。
川薩広域市町村圏協議会の廃止について	(川薩広域市町村圏の振興整備に関する計画の策定及びその実施についての連絡調整に関する事務を共同処理するため、1市3町で構成し、設置している川薩広域市町村圏協議会について、平成17年3月22日に薩摩郡さつま町が設置されることに伴い、同協議会を廃止しようとするもの。)
川薩広域市町村圏協議会の設置について	川薩広域市町村圏の振興整備に関する計画の策定及びその実施についての連絡調整に関する事務を共同処理するため、薩摩川内市及び薩摩郡さつま町の1市1町で川薩広域市町村圏協議会を設置しようとするもの。
薩摩川内市集会所条例の一部を改正する条例の制定について	小牟田集会所を新たに公の施設として設置し、及び管理しようとするもの。
薩摩川内市行政手続き等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について	行政機関における情報化の進展にかんがみ、住民サービスの向上と行政事務の効率化を図るとともに、電子自治体の円滑かつ効率的な構築を図るため、行政手続等における情報通信の技術の利用に関し必要な事項を定めようとするもの。
財産の取得について	ふれあい情報ネットワーク整備事業に係るネットワークの構築のため、ネットワーク接続用機器一式を購入しようとするもの。 財産の名称 光多重伝送リングシステム機器一式 取得価格 2352万円

件名	説明
川薩地区介護保険組合を組織する地方公共団体の数の減少及び川薩地区介護保険組合同約の変更について	平成17年3月22日に薩摩郡さつま町が設置されることに伴い、市町村の合併の特例に関する法律第9条の2第1項の規定に基づく協議により、川薩地区介護保険組合を組織する地方公共団体を、薩摩川内市及び薩摩郡さつま町とし、同組合の規約を変更しようとするもの。
薩摩川内市農業委員会委員選挙区条例の制定について	薩摩川内市農業委員会管内の選挙による委員の選挙について、選挙区を設けようとするもの。
広域基幹林道紫尾線維持管理協会を組織する地方公共団体の数の減少及び広域基幹林道紫尾線維持管理協会同約の変更について	広域基幹林道紫尾線の維持管理に関する計画の策定及びその実施についての連絡調整に関する事務を共同処理するため、2市3町で構成し、設置している広域基幹林道紫尾線維持管理協議会について、平成17年3月22日に薩摩郡さつま町が設置されることに伴い、同月21日をもって薩摩郡宮之城町が同協議会から脱退することとなるもの。
広域基幹林道紫尾線維持管理協会を組織する地方公共団体の数の増加及び広域基幹林道紫尾線維持管理協会同約の変更について	広域基幹林道紫尾線の維持管理に関する計画の策定及びその実施についての連絡調整に関する事務を共同処理するため、2市2町で構成し、設置している広域基幹林道紫尾線維持管理協議会について、平成17年3月22日から薩摩郡さつま町を同協議会に加入させることとするもの。
平成16年度青瀬漁港地域水産物供給基盤整備工事(1工区)請負契約の変更について	平成16年度青瀬漁港地域水産物供給基盤整備工事(1工区)について、設計変更の必要が生じたので、工事請負契約の変更をしようとするもの。 変更前 1億7377万5千円 変更後 1億7664万8千円
平成16年度瀬々野浦漁港地域水産物供給基盤整備工事請負契約の変更について	平成16年度瀬々野浦漁港地域水産物供給基盤整備工事について、設計変更の必要が生じたので、工事請負契約の変更をしようとするもの。 変更前 3億8325万円 変更後 3億8826万8千円
薩摩川内市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	本市市営住宅のうち、老朽化の著しい中ノ原東住宅6戸について、その用途を廃止しようとするもの。
市道路線の廃止について	河川公園の整備計画に伴い、市道母合・向田線を廃止しようとするもの。
薩摩川内市過疎地域自立促進計画について	合併前の薩摩郡樋脇町、同郡入来町、同郡東郷町、同郡祁答院町、同郡里村、同郡上甕村、同郡下甕村及び同郡鹿島村が策定した前期過疎地域自立促進計画が平成16年度をもって終了することに伴い、新たにこれらの区域を対象地域とする平成17年度から平成21年度までの薩摩川内市過疎地域自立促進計画を策定しようとするもの。
財産の取得について	ふれあい情報ネットワーク整備事業に係るネットワークの構築のため、学校用テレビ会議システム機器一式を購入しようとするもの。 財産の名称 学校用テレビ会議システム機器一式 取得価格 2429万7千円
財産の取得について	情報化に対応する教育の一環として、就学環境を整備するため教育用コンピュータを購入しようとするもの 財産の名称 小学校教育用コンピュータ 取得価格 3,339万円
薩摩川内市議会政務調査費の交付に関する条例の制定について	議会の議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、議会における会派又は議員に対し、政務調査費を交付しようとするもの。
財産の取得について	市内田崎町字轟木630番3の土地を普通財産として取得しようとするもの 土地の面積 7269,35平方メートル 取得価格 168,159,132円
固定資産評価員の選任について	本市の固定資産評価員を選任したいが、これについては、地方税法第404条第2項の規定により議会の同意を得るもの。
人権擁護委員候補者の推薦について	本市の区域に置かれている人権擁護委員手打和知氏、石田幹雄氏、小村優氏、豊崎正幸氏の任期が平成17年1月31日満了することとなるので、これら4人の方を新たに委員候補者として法務大臣に推薦しようとするもの。

議会のうごき

- 1・6 県市議会議長会臨時総会
- 7 県市議会議長会議員研修会
- 13 南九州市議会議長会総会
- 20 九州市議会議長会理事会
- 24 議会運営委員会
- 25 原子力発電所対策調査特別委員会
- 2・8 交通運輸対策調査特別委員会
- 9 都市基盤整備対策調査特別委員会
- 10 地域振興対策調査特別委員会
- 15 川薩地区介護保険組合理議会定例会
- 15 議会運営委員会
- 24 本会議
- 3・4 本会議（一般質問）
- 7 本会議（一般質問）
- 8 本会議（一般質問）
- 9 企画経済委員会
- 10 企画経済委員会
- 11 市民福祉委員会
- 14 市民福祉委員会
- 16 建設水道委員会
- 17 建設水道委員会
- 18 総務文教委員会
- 22 総務文教委員会
- 23 総務文教委員会
- 30 本会議

（3月以降は予定）

請願・陳情の処理状況

件名	結果
請願第1号 隈之城麓踏切及び鉄道と交差する道路の改善に関する請願	採択
陳情第2号 「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する陳情書	採択

意見書

次の意見書を可決し、関係行政庁に提出しました。

件名
1 陸上自衛隊川内駐屯地の存続を求める意見書
2 平成17年度地方交付税所要総額確保に関する意見書
3 「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する意見書

3月定例会は2月24日から、
一般質問は3月4日・7日・8日の予定です。

市議会は、原則、どなたでも傍聴できます。
傍聴席は市役所の4階にありますので、
入口の受付簿に住所、氏名を記入してお入りください。

特別委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

特別委員会			
原子力発電所対策調査特別委員会	交通運輸対策調査特別委員会	都市基盤整備対策調査特別委員会	地域振興対策調査特別委員会
◎ 橋口 博文 ○ 鳥越 淳一 岩下 早人 小辻 富義 杉藪 道朗 大田黒 博 石野田 浩 井上 勝博 佃 昌樹 川添 公貴 樽木 孝治 福元 光一	◎ 岩下 早人 ○ 今塩屋 裕一 柏木 謙一 寺脇 幸一 堀之内 盛良 池脇 重夫 尾崎 嗣徳 和田 岸夫 永山 伸一 初田 健 新原 春二 小村 亮一	◎ 石野田 浩 ○ 宮里 兼実 上野 一誠 川畑 善照 種田 弘二郎 福田 俊一郎 井上 勝博 森永 靖子 川添 公貴 宮脇 秀隆 木原 秀治 江畑 芳幸	◎ 古里 貞義 ○ 鷺山 和平 江口 是彦 瀬尾 和敬 小牧 勝一郎 大毛 次生 高橋 修二 宮里 兼実 好士崎 勝 乙須 紀文 小村 亮一 中島 由美子